

施策評価表

平成28年度分

① 施策コード	1・1・4	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	子どもと家庭の健康を守る環境づくり					
③ 目標	丸森町は子育てしやすいまちだと感じる保護者の割合					
④ 現状と課題	<p>◆ 全国的に、少子化対策は緊急の課題となっています。本町において、出生率は増加に転じていますが、全国平均等を下回る状況にあります。また、核家族化の進行や共働き世帯の増加などもあって、子育て家庭の環境は大きく変化しています。さらに、家庭や地域における子育て力の低下が懸念され、出産や子育てへの不安を抱く親も増加しています。</p> <p>◆ 本町では、これまでも保育施設の新設や保育料・医療費の助成など、子育て支援施策の充実に向けてきました。その結果、平成23年以降、出生率が増加するなど一定の成果をあげていますが、より一層、住み慣れた地域で、安心して子どもを育てることができるよう、環境の整備や相談・支援体制の充実が求められています。</p>		施策の内容	安心して子どもを産み、喜びと希望をもって子育てができ、すべての子どもが心身ともに健やかに成長できるよう、子どもの命と健康を守るための体制の充実を図ります。		

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
乳幼児健診において子どものことで心配がある保護者の割合	%	50.4	55.0	46.0	40.0	40.0	40.0	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	235,367	238,243	250,833	251,419	251,319

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの感染症疾患のまん延防止と保護者の経済的負担の軽減を図るため、任意予防接種費用の一部助成を行い、接種者が増加している。 ・子育て家庭および母子・父子家庭の親の経済的負担を軽減し受診機会を確保するため、医療費自己負担分の助成を行った。また、児童を養育している家庭の負担軽減と健全育成施策の一環として、中学校卒業までの児童の養育者に対し、児童手当の支給を行った。 ・疾病や障害の早期発見、育児支援、虐待の予防と早期発見のため、母子手帳交付、乳児全戸訪問、養育支援訪問、乳幼児健康診査で個別相談や保健指導を実施し、妊娠前から個々のニーズに合わせた継続的な支援を行っている。また、医療機関で実施する妊婦健診や乳児健診、子どもの歯科健診及びフッ素塗布の費用の助成を行っている。 ・関係機関との連携により、保育所児童や小学生とその保護者に対し食育教育を実施し、バランスの良い食事を食べる小学生の割合が増加してきている。 ・児童家庭相談員を配置し、関係機関と連携しながら要保護児童の把握とケースの対応を進める事ができている。 ・就学前の心身に障害のある児童及び発達上支援が必要な児童については、関係機関との連携により、個々の児童の特性に合った支援を行っている。
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>◎</p> <p>【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

今後の取組

⑩ 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや親への予防接種や医療・健康診査に係る費用の助成を継続するとともに、健康に関する意識を高め医療費の削減に努める。 ・任意予防接種費用助成事業、妊婦・乳児一般健康診査委託事業、子どものむし歯予防事業の周知を図り、接種率や受診率向上に努める。 ・関係機関との連携を強化し、要保護児童の把握と適切な継続支援に努めるとともに、対象児童のフォローのあり方を検討する。
---------	--

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】